

# 一般質問通告一覧

平成27年第4回島田市議会定例会  
平成27年12月2日・3日・4日本会議

島 田 市 議 会

◎ 発言順位

(頁)

平成27年12月2日(水)

12番	仲田裕子	議員(一問一答)	-----	1
4番	山本孝夫	議員(一問一答)	-----	2
11番	佐野義晴	議員(一問一答)	-----	3
13番	大石節雄	議員(一問一答)	-----	4
9番	曾根嘉明	議員(一問一答)	-----	5
1番	青山真虎	議員(一問一答)	-----	6

平成27年12月3日(木)

5番	森伸一	議員(一問一答)	-----	7
10番	桜井洋子	議員(一問一答)	-----	8
7番	清水唯史	議員(一問一答)	-----	9
8番	村田千鶴子	議員(一問一答)	-----	10
2番	杉野直樹	議員(一問一答)	-----	11
16番	八木伸雄	議員(一問一答)	-----	12

平成27年12月4日(金)

18番	平松吉祝	議員(一問一答)	-----	13
6番	伊藤孝	議員(一問一答)	-----	14
3番	横田川真人	議員(一問一答)	-----	15

○一般質問の質問時間のめやす

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	7人目
質問時間	9:30 ~ 10:20	10:20 ~ 11:10	11:10 ~ 12:00	13:00 ~ 13:50	13:50 ~ 14:40	14:50 ~ 15:40	15:40 ~ 16:30

あくまでもめやすです。

議員により質問時間は変動しますので、あしからず御了承ください。

## 1. 12番 仲田裕子 議員 (一問一答)

### 1. 合併10周年を迎え市政を問う

旧金谷町と旧島田市が対等合併をして、早10年が経過した。

思いおこせば10年前、合併に向けて多くの予算と人材を要した合併協議会が13回行われ、さまざまな協議の結果、新島田市が誕生したことは承知のとおりである。合併の大きなメリットの一つである合併特例債の発行期限が平成32年まで延長されたことから、新市建設計画も見直された。

また、新市になって10年が経過し旧川根町との合併も経た中で、情勢の変化や新たな課題も生じてきた。島田市の行政施策に対する考え方を伺う。

- (1) 合併特例債が利用可能な施策の将来計画を伺う。
- (2) 金谷庁舎及び関連施設内の行政組織及び団体等の将来計画を伺う。
- (3) 新市誕生10周年に掲げた「島田市緑茶化計画」の内容を伺う。
- (4) 市民会館等解体後の周辺を含んだ将来計画はあるのか。

## 2. 4番 山本孝夫 議員 (一問一答)

### 1. 田代の郷の温泉施設改装工事に関するプロセスと今後の対応について

平成26年12月に稼働開始した微細気泡発生装置を用いた通称シルク湯について、これまで常任委員会において質問してきた。私は装置メーカーの唱える効能、効果に疑問を持ち、その根拠を示してもらおうよう資料要求するとともに、観光課の協力を得て現地水質検査も行った。装置導入の経過と検査結果から今後の対応について以下質問する。

#### (1) 導入経過について

- ① 微細気泡発生装置の導入を検討、決定したのはいつか。
- ② 導入し、改装工事する試算はいつ行ったか。
- ③ 導入の決め手となった点は何か。
- ④ 導入について議会への説明はいつ行ったか。
- ⑤ 改装工事の検収は誰がいつどのようなことを行ったか。

#### (2) 稼働開始後からこれまでにについて

- ① 利用者の感想について、いつ、どこで、何人に、どのような内容の聞き取り調査を行ったか。
- ② 伊太和里の湯の利用者増減についてどのように把握しているか。
- ③ 増減の結果と改装工事との関係をどのように解析するか。
- ④ 6月19日に装置メーカーに対し科学的根拠を示すよう資料要求したが、無視していることに対し市としてどのように考えるか。
- ⑤ 9月定例会終了後の10月上旬に再度資料要求したが、いまだに返答がないことに対し市としてどのように考えるか。

#### (3) これからについて

- ① 市としてこれからどのように対応するか。
- ② 指定管理者への移行は予定どおり進めるか。

### 2. 合併10周年記念事業後の施策について

11月1日に記念式典が行われ、島田市緑茶化計画が発表された。ロゴマーク、イメージカラー、島田の逸品10点などが示された。低迷する現在の茶産業にこの計画がどのように関係するか以下質問する。

- (1) これまでの施策との違いは何か。
- (2) 茶産業の振興について新施策があるのか。
- (3) 茶の海外販路開拓はどのように進めるか。
- (4) 新施策は、何をもって評価するか。

### 3. 11番 佐野義晴 議員 (一問一答)

#### 1. 新病院の建設と市民生活への影響について

10月末に新市民病院建設基本計画が発表され、これから基本設計、実施設計そして建設工事へと進み平成32年度中に開院とされているが、時間は限られている。

病院は医療施設であることはもとより「まちづくり」の核となることから、より多くの市民ニーズを吸収し満足度の高い病院を建設することが市政に携わるものの使命と考え、以下、質問する。

##### (1) 基本設計及び実施設計について

- ① 発注方式はどうか。
- ② 発注時期と発表時期はいつか。
- ③ 予定する発注金額と業者選定への考え方を伺う。

##### (2) 周辺の環境整備計画について

- ① 予想される事業内容及び規模を伺う。
- ② 交通環境が大きく変化すると思われるが、その影響はどうか。
- ③ 周辺部の雨水排水等の影響はどうか。

##### (3) 計画では療養病床は整備しないとされている

- ① 一番大きな理由は何か。
- ② 市民生活に影響はないか。

#### 4. 13番 大石節雄 議員 (一問一答)

##### 1. 行政組織の改善について

今年4月から市の行政組織が大きく見直された。市民はもとより職員、議員としても戸惑いながらも職務を遂行してきた。半年以上過ぎ、何か改善点はなかったか以下質問する。

###### (1) 各部署の事務バランスについて

- ① 市長戦略部としての事務内容は適切であったか。
- ② 各部署の事務内容と人員配置は適切であるか。
- ③ 総合的な調整事務は適切に行われているか。
- ④ 重要課題に対するプロジェクト部署の設置の考えはあるか。
- ⑤ 中山間地域振興室を設置してはどうか。

###### (2) 行政組織について職員の意見、考えの反映の仕方について

- ① 具体的にどのような意見聴取をしているか。
- ② 意見を採用した例はあるか。
- ③ 職員のモチベーションを上げることに何か工夫はあるか。

###### (3) 各支所機能について

- ① 各支所の権限は何か。
- ② 各支所に予算を持たせる考えはないか。
- ③ 各支所では、市民の声をどのように伝えているのか。

##### 2. 国道473号の改善について

先日のフォトロゲイニングや温泉、SL、紅葉、パラグライダーなど大井川筋への交流人口は増加傾向にあると考える。さらに、新東名島田金谷インターチェンジの開設により今までになく東西からのマイカーや大型観光バスが右岸側を走行してきている。こうした中で、交通の安全性確保と交流人口拡大のために国道473号の利便性向上施策は必要なものと考え、以下質問する。

###### (1) 県にはどのような要望活動をしているのか。

- ① さまざまな道路施策要望の中で、国道473号の優先順位はどれくらいか。
- ② 優先順位の判断基準は何か。
- ③ 優先順位を上げるため必要な行動は何か。

## 5. 9番 曾根嘉明 議員 (一問一答)

### 1. 新病院建設事業について

新市立島田市民病院の建設基本計画が今回提示された。地域の基幹病院としてなくてはならない大切な施設であり、新病院建設は喫緊の課題であると認識しているが、現計画に対し幾つかの疑問点がある。

まず、概算事業費247億円について、東京オリンピックを控えた中での建設計画であり、建設費の高騰が懸念される。次に、新病院は軟弱地盤に地盤改良やくい打ち工法を行って今後どのくらいの長寿命化を見込むのか、工事費は幾らかかるのか、それに対する財源の確保はどうなるのか。建物配置についても無理がないのか不確定な部分がたくさんある。

開院が数年遅れてでも先を見据えた精査、検討が必要と思ひ、以下について質問する。

- (1) 建設事業費上限額を250億円とした根拠は何か。
- (2) 建設工事費199億円の内訳を伺う。
- (3) 今後行う地質調査の内容を伺う。
- (4) 500床以下の病院には医師が集まらないと言われていた中で445床とした見解を伺う。
- (5) 極端に変形な建物配置となるが、病院としての機能は果たせるのか。

### 2. 市民活動室について

「ゆめ・みらい百人会議」の提案について、市民が交流する常設の「市民活動室」を設置する方針を示したとの報道があった。主体的な市民活動への支援については異論はないが、公益性、公平性を前提に検討を進めて欲しく、また、市と団体との間の責任と役割を明確にしておく必要から以下について質問する。

- (1) 設置の目的、主体、根拠は何か。
- (2) 設置場所はどこになるのか。
- (3) どのような機能を持たせるのか。
- (4) 活動室の管理、利用団体の条件、利用者の負担はどうなるのか。
- (5) 設置にかかる費用はどのくらいを見込むか。

## 6. 1番 青山真虎 議員 (一問一答)

### 1. 第108回島田大祭・帯まつりについて

戦後70年、日本はさまざまなひずみが生じている。人づき合いの希薄さ、自分さえよければいい、信じられる価値観が金やモノ、くさびがなくなり自由に遊べる代わりに晩婚化が進み、東京人口一極集中。これら正体不明の「圧倒的な欠落」に不安をもつ若者は当然多い。

こんな時代だが、ラッキーなことに島田には島田大祭が残っている。人づくり、若い力、仲間との結束。地域に山積している問題を解決しようとするバラバラの力が、祭りによって共振し、行き詰まりを打開する大きな力になっていくことをイメージできないだろうか。なぜ島田大祭が青年の祭りなのか。祭りの意味は何なのか。島田市行政とともに、島田大祭が未来永劫続くための議論をしていきたい。

- (1) 島田大祭を継続していくために問題となっていることは何か。
- (2) 知らない間に規模を縮小されては困る。前回と比べて各街の行動計画に変更を生じさせなければならない新たな条件はあるか。
- (3) なぜ島田大祭は青年の祭りか理解しているか。
- (4) 前夜祭は開催するのか。

### 2. 島田中心市街地の活性化について

- (1) 今まで議員や市民が星の数ほど中心市街地活性化のための提言を行ってきたが、検討の結果、実現可能なものは何か。
- (2) 国道一号バイパス沿いに道の駅をつくる計画は順調に進んでいるか。それとも蓬莱橋につくって同時に市街地活性化を図るのか。

### 3. 若い世代が希望をもって島田市に住み続けるために

- (1) 若い世代の自治会や政治参画等がとにかく少ない。見解を伺う。
- (2) 若者の結婚の決定打は「キッカケ」である。婚姻届などで若者の興味をあおる結婚加速のための創意工夫は行われているか。
- (3) 子供たちがこの土地に魅力を感じ暮らし続けるための教育は行われているか。
- (4) 新市民病院建設はこのままの計画では将来世代に大きな負担となることが予想される。一旦立ち止まって、真に「みなさんのためになるかどうか」を熟考する必要があるかどうか。



## 7. 5番 森 伸一 議員 (一問一答)

### 1. 市民会館と島田球場の将来見通しについて

旧島田市は「音楽と野球のまち」と言われていたが、その特色が消滅しつつあり残念に感じる市民も多い。その象徴が市民会館の解体と島田球場の老朽化である。音楽と野球で島田を元気に、この観点から以下伺う。

- (1) 新市民会館建設については、今後、公共施設適正化を検討する中でどのような位置づけで扱うか。
- (2) 市民会館が使用できなく、プラザおおりを使用することが多い中、空調やトイレの配管工事の必要性などが昨年の議会で話題になったが、どのような修繕が必要で将来見通しはどうか。
- (3) 島田球場は現在耐震化など改修工事が進められているが、どのような機能を持つ球場にしようと考えているか。

### 2. ごみの減量など島田市の資源循環型社会の形成について

ごみ・リサイクル対策は市民アンケートで市民満足度が1位の取り組みである。資源循環型社会の形成を島田市でさらに進めたいと思い、以下伺う。

- (1) ごみ・リサイクル対策のどのような点に市民が満足していると受け取っているか。
- (2) ガス化溶解施設の今後について、ごみの最大処理能力と実際のごみの処理量、将来予測量などからどのような見通しを持っているか。
- (3) ごみの減量方法のひとつとして雑紙の分別の徹底が考えられるが、具体策を考えているか。
- (4) 生ごみの減量化について、自家処理のほか水切り、食べ残さないなどのエコクッキングの浸透が必要だと思うが、その周知法を検討しているか。
- (5) 新最終処分場候補地選定事業はどこまで進んでいるか。

## 8. 10番 桜井洋子 議員 (一問一答)

### 1. 安全・安心でおいしい豊かな学校給食について

4つの学校給食調理場が統合され、6,300食対応の中部学校給食センターが4月から稼働した。小・中学校25校の学校給食が南部学校給食センターとの2カ所体制で作られている。教育の一環として、安全・安心でおいしい豊かな学校給食の充実のために以下伺う。

(1) 中部学校給食センターでアレルギー対応食が始まったが、その内容について

- ① 食品アレルギーの義務表示は5品目(卵、乳、小麦、そば、落花生)であり、これに準じる食品として19品目(エビ、カニなどの甲殻類やリンゴ、キウイフルーツなどの果物、鶏や豚などの肉類など)が挙げられる。どの食品アレルギーに対応しているのか。
- ② 除去食か代替食のどちらに対応しているのか。
- ③ 安全に提供されるための手だてをどのように取っているのか。
- ④ 職員の体制はどうなっているか。

(2) 米や野菜果物等の島田産の食材の導入について

- ① 南部学校給食センター、中部学校給食センターごとに品目数、重量での導入率はどうか。
  - ② 食育の観点から生産者と児童生徒との交流はどのように進められているか。
- (3) 学校給食は教育の一環である。栄養教諭や学校栄養職員が教育現場に入り、学校給食を通じた食育の指導はどのようにしているのか。
- (4) 学校給食の調理業務は民間委託ではなく直営にすべきだと考えるがどうか。
- (5) 学校給食費の未納状況はどうか。
- (6) 2017年4月から消費税が10%に増税される。給食費の引き上げではなく、市独自で給食費への助成制度をつくり保護者負担を軽減すべきと考えるがどうか。

### 2. 介護予防、生活支援サービス事業について

介護保険法の改定で、要支援1、2の人への訪問介護と通所介護が介護給付から外され、市が行う地域支援事業の「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行した。

- (1) 4月からの要支援者の総合事業・地域支援事業への移行状況はどうか。
- (2) サービスの受け皿となる事業については、A型(緩和した人員基準等)、B型(住民主体、ボランティアによる支援)、C型(短期集中予防サービス)とあるが、市ではそれぞれどのような事業を実施しているのか。
- (3) 市の窓口や地域包括支援センターでのチェックリストの活用で介護認定に至らず、新たなサービスの対象になった方の状況はどうか。
- (4) 地域包括支援センターの役割や仕事量が大幅にふえている。体制の充実が必要だがどうか。

## 9. 7番 清水唯史 議員 (一問一答)

### 1. 島田市シティプロモーション推進事業の取り組みについて

島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略として、厳しい地域間競争の中で島田市を地域内外に対してアピールし他の自治体との差別化を図り、「島田市ブランド」の確立と島田市独自の魅力やアイデンティティを発信するため、市制施行10周年記念式典において「島田市緑茶化計画」が華々しく発表された。しかしながら、我々議員を含め市民はこの推進事業の展開や取り組みが理解しにくい状況にあると思われる。

市議会においても島田市のお茶を中心とした振興策が各議員から提案されてきたが、島田市全体をあげお茶を中心としたシティプロモーションは行われてこなかった。そこで、この「島田市緑茶化計画」における取り組みについて以下伺う。

- (1) 「島田市ブランド」(島田市緑茶化計画)を推進することとなった経緯を伺う。
- (2) 「島田市ブランド」(島田市緑茶化計画)によりどのような効果を求めるのか。
- (3) 「島田市ブランド」(島田市緑茶化計画)の展開について
  - ① 海外戦略としてどのような取り組みを計画しているか。
  - ② 国内戦略としてどのような取り組みを計画しているか。
  - ③ 市内戦略としてどのような取り組みを計画しているか。
- (4) この推進事業の成果検証をいつ、どのように行うか。

### 2. 公共施設マネジメントの推進について

本年2月定例会における市役所本庁舎の建てかえ問題や、9月定例会における社会福祉協議会の移転に伴うプラザおおりの利用問題など、公共施設マネジメントにかかわる課題が浮き彫りになっている。そこで、現在進められている公共施設マネジメントについて以下伺う。

- (1) 公共施設等総合管理計画の策定について
  - ① 計画の策定完了と公表時期はいつか。
  - ② 市民からの意見の聴取方法はどうか。
  - ③ 除外施設の有無はどうか。
  - ④ 計画に基づく施設の適正化の推進方法はどうか。

## 10. 8番 村田 千鶴子 議員 ( 一問一答 )

### 1. 空き家の活用手法としてのサービス付き高齢者向け住宅について

私は平成25年11月定例会において、島田市の空き家の現状と対策について、空き家の管理の適正化や防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境面から質問をし、実効性のある制度づくりを提案した経緯がある。しかし、空き家問題は所有者の権利や管理責任など複雑で困難な問題であり有効な対策が講じられないのが現状である。

今後急増する高齢者への対応、特に独居老人の生活支援として、空き家の利活用を兼ねて居場所づくりの観点から、以下について伺う。

- (1) 平成26年11月27日に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が公布され、市町村による空家等対策計画の策定と協議会の設置、空き家の所有者の調査、データベースの整備などを行うことが示されたが、当局の対応はどうか。
- (2) 現時点の空き家の戸数、空き家率はどうか。
- (3) 空き家の活用手法について、市はどのような考えを持ち今後どのように取り組んでいくのか。
- (4) 空き家の活用手法として「サービス付き高齢者向け住宅」を整備する考えはどうか。

### 2. 早期認知症対策について

全国で認知症患者数は460万人超と言われ、誰もが発症する可能性がある国民病とされている。認知症の早期発見と早期治療、その看護と介護は重要な社会的課題である。国の医療政策は地域包括ケアシステムに移行されつつあり、地域での見守り体制の構築とともに介護予防施策が重要であると考えます。以下について伺う。

- (1) 市の現在の認知症患者数、また、予備軍はどれくらいか。
- (2) 市は本年度、新規で「徘徊高齢者等家族支援費助成金交付事業」を開始したが、その状況はどうか。
- (3) 介護予防施策の観点から、軽度認知症障害の兆候を早期に発見できる血液検査を健診項目に追加する考えについてはどうか。

### 3. 「あなたも弾けますベーゼンドルファー」の今後と市民文化振興について

当該事業は島田市文化協会と教育委員会との共催にて開催され、来年度は15回目と節目の年である。当市は世界の名器といわれるベーゼンドルファーピアノを2台保有している。

私は、この名器を市民の皆さんが弾くことのできる機会とともに「文化のまち しまだ」を全国に発信する一つとしてこのイベントが始まったと記憶している。文化協会の役員を初めピアノ教師の方々の支えにて長きにわたり運営されていることに敬意を表し、第15回目に向けて以下について伺う。

- (1) 第15回という節目を迎えるに当たり、特別な企画を考えているのか。
- (2) 当該事業を継続するに当たり、見直しすべき点や課題はあるか。
- (3) ベーゼンドルファーの体験演奏だけではなく、ピアノ演奏の技術の向上やイベントの発信性を高めるために「コンテストの部」を設けてはどうか。
- (4) 体育協会のように文化協会も独自の表彰制度を創設して会員の育成や活動の奨励を図ったらどうか。

## 11. 2番 杉野直樹 議員 ( 一問一答 )

### 1. 市の産業及び雇用対策について

近年では全国的に産業の衰退が進み、毎年多くの事業所が廃業に追い込まれ、その数は新規開業を上回っている状況にある。島田市においても、今後、仕事を創出することで雇用をふやし人口の減少に歯止めをかけるための施策を積極的に進めていく必要があるが、その施策は近隣市町と同じことをしてもよい結果は望めないと考える。そこで、島田市に合った独自の産業・雇用創出とは何なのか、以下質問する。

- (1) 市にとってこれからの基幹産業は何と考えるか。
- (2) その産業を基幹産業と位置づける根拠は何か。
- (3) 産業・雇用を創出するためには市は何をすべきと考えるか。

### 2. 市職員の公務中の交通事故について

交通事故は加害者側も被害者側も損害や傷害を負い、時には人の命を奪うこともあることから、市の交通安全対策は重要課題であり率先して職員が交通安全に努めなければならないと考える。しかし、残念ながら市民の安心や安全を守るはずの市職員による公務中の事故が起きているのが現実である。そこで、職員の公務中の事故をなくするための交通安全対策について以下質問する。

- (1) 職員の公務中の交通事故防止のために、どのような対策をしているか。
- (2) 過去5年で何件の物損事故、人身事故を起こしているか。
- (3) 過去5年の交通事故の中でもっとも大きな損害を生じた事故は何か。

### 3. 市の実施計画について

平成27年10月に平成28年度から平成30年度までの実施計画が発表された。

実施計画は島田市総合計画の基本計画に位置づけられた個々の施策の具体的な指針であると認識している。そこで以下質問する。

- (1) 事業期間が記載されていないのはなぜか。
- (2) 全体事業費が記載されていないのはなぜか。
- (3) 実施計画は財政との整合性を取って決定しているのか。

## 12. 16番 八木 伸 雄 議員 ( 一問一答 )

### 1. 「どうなる高齢者」療養病床廃止について

私はこれまでに新病院建設の事業費を圧縮するため、「将来、国の医療制度が見直され入院日数の短縮が予想される。しかも人口減少もある。したがって病床数は500床では多すぎる。」と指摘してきたが、染谷市長は「国が高齢者を見捨てても島田市は見捨てません。」と明言し、500床にこだわってきた。にもかかわらず、その発言の直後の基本計画で療養病床をなくし、病床数を減らす基本計画を示した。市の方針転換の理由を何うとともに、今後の高齢者の医療・介護対策を何う。

- (1) 市長は高齢者を見捨てないと言ってきた。方針転換は誰の判断か。
- (2) 療養病床を廃止する理由は何か。
- (3) 事業費の圧縮の手法は療養病床廃止以外には考えられないのか。
- (4) 今後の高齢者対策をどのように考えているか。

### 2. 林道の管理について

隣町の川根本町では、建築材とならない小径木の間伐材を町が補助して買い取る制度を開始した。町内だけで利用できる金券「ダラ券」を創設し、1ダラが1円として活用できる。高齢の人でも小径木ということで作業が容易で、小遣い稼ぎあるいは年金の補填として生きがいと経済的メリット、高齢者の健康対策にもつながる。また、若い林業家なら資機材を活用した大規模な対応で経営改善にもつながることも推察される。

一方、当市の現状を見るとそうした事業以前に作業のための林道が荒廃し、手つかずのままに放置されている。市はそうした現状を把握しているのか、以下何う。

- (1) 市内の林道路線数と総延長はどれくらいか。
- (2) 現在通行不能となっている路線数は幾つか。また、その要因である箇所は総数で何カ所か。
- (3) 現在通行不能となっている路線の復旧工事の見通しはそれぞれ何年後か。
- (4) 県の「森の力再生事業」に今後も取り組んでいくのか。

1. 公共施設の再編・整備について

(1) 本庁舎の建設計画について

本庁舎の建てかえについては、昨年一度検討の意向が表明されたが現在立ち消えとなっている。しかしながら、金谷庁舎や市民会館といった基幹的な公共施設のあり方が課題となっている中で、本庁舎の建てかえを単に耐震性や財政力といった個別条件によって判断せず、合併後の行政機能の一元化や中心部の土地利用の観点を含めた総合的な見地から改めて方針を検討すべきと考え、以下伺う。

- ① 金谷庁舎の機能をどのように考えているか。
- ② 行政機能の一元化をどのように考えているか。
- ③ 合併特例債の期限内に、庁舎の再編整備（金谷庁舎の本庁舎への統合など）をすべきと考えるがどうか。
- ④ 市民会館は解体する予定か。
- ⑤ 市民会館解体後の敷地利用の計画はあるのか。
- ⑥ 本庁舎、市民会館敷地、プラザおおるり及び本庁舎北側の職員駐車場（中央小公園を含む）について、合併特例債の期限内に都市計画の変更を含めた一体的な土地利用をすべきと考えるがどうか。
- ⑦ これらを踏まえ、場当たりのではなく長期的な視野に立つ基幹公共施設の再編・整備を行うべきと提言するが、市の考えはどうか。

(2) 田代の郷整備について

すでに始まっていた「田代の郷陸上競技場計画」を中止し、放置されてから3年が経過した。幾度となく議会で質問されているが、「多くの市民が利用可能になるような整備計画を検討中」との答弁が繰り返されるだけで、事実上は田代の郷陸上競技場計画は放置された。島田市は大井川マラソンの実施地域でありスポーツ合宿を奨励しているにもかかわらず、公式陸上競技場を備えていないお粗末な現実。島田市に公式陸上競技場が必要であるという現実を目を背け、また、行政の教育的、文化的基盤整備の責務から目を背け、多くの市民が利用できるようにという美辞麗句にすり替えられてしまったことは、今後の島田市に大いに禍根を残すことになることを明記して以下伺う。

- ① 平成26年度のスポーツ合宿誘致の実施状況・結果はどうであったか。
- ② 平成28年度から平成30年度の実施計画に田代の郷整備事業として実施計画が記された。「田代の郷陸上トラック整備事業の内容を見直し、民間の創意工夫を活かしながら、スポーツの振興や競技力向上、さらに健康増進に資する施設整備を効率的に進める」とあるが、競技力向上を目的に整備するのか。
- ③ 「民間の創意工夫を活かす」という基盤能力が市にあるのか。民間に責任転嫁するのではないか。また、民間の活力とは具体的に何か。
- ④ 施設整備ありきで計画ができています。それが染谷市長の考えでよいか。
- ⑤ 現在、市内の子どもたちは公式陸上競技場使用のためにエコパまで行っている。「教育的にも文化的にもさらには経済的にもイニシアチブをとれない活気のないまちになっている」という市民の声があるが、市の見解はどうか。

#### 14. 6番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

##### 1. 歳入増について

ふるさと寄附金は、総務省の「ふるさと納税に関する現況調査結果」では平成26年度において島田市は1,683万円、994件、焼津市は1億1,660万円、10,857件と報告されている。

税収の伸びが期待できない現在では、本来の趣旨とは外れてきていると指摘されているものの、市の努力で歳入増ができる制度である。

このほか歳入増のための政策について、以下伺う。

##### (1) ふるさと寄附金（ふるさと納税）制度について

- ① ふるさと寄附金額の現状はどのようになっているのか。
- ② ふるさと寄附金業務委託契約はどのような内容か。
- ③ 他自治体へ寄附することにより、島田市に影響する減税額は幾らか。

##### (2) その他歳入増のための政策の現状と今後について伺う。

##### 2. シティプロモーションについて

11月1日の島田市制施行10周年記念式典において「ブランドメッセージ・ロゴ」が発表され、展示ホールでは「島田の逸品」お披露目会が行われたが、今後の展開が市民に見えていない。そこで以下伺う。

- (1) 「島田市緑茶化計画」とはどのようなものか。
- (2) 「島田の逸品」について、今後の計画と「島田市緑茶化計画」とのかかわりはどうなるか。
- (3) その他シティプロモーションの今後の展開はどのようになっているのか。



15. 3番 横田川 真人 議員 ( 一問一答 )

1. 島田大祭について

三年に一度の島田大祭が来年に迫っている。前回は市長が交代した年に開催され、今回は染谷市長になって2回目の大祭である。そこで、市としてのかかわり方について伺う。

- (1) 前夜祭について、前回は取りやめているが次はどうする考えか。
- (2) 青年が回を追うごとに少なくなっている。人員の確保が課題となっているが、市としての協力体制はどうか。
- (3) 大祭は多くの人が集まる。喫煙場所の確保などの分煙対策はどうなっているか。

2. 教育の支援体制について

小学校から中学校までの義務教育では、各教科において質の高い教育を提供することは当然であるが、それ以外にも学校や家庭における教育や支援する体制が整っていることが大切である。島田市ではどの程度環境が整っているのか以下伺う。

- (1) 家庭教育学級について、内容を伺う。
- (2) スクールソーシャルワーカーについて、現状はどうか。
- (3) 学校図書館司書教諭の配備状況はどうか。